

甲斐市水道審議会 (第1回)

説明用資料

令和7年7月14日

公営企業部 上下水道業務課・上下水道工務課

説明内容

1. 甲斐市水道事業の概要
2. 甲斐市第2次水道ビジョンについて
3. 施策の取組状況
4. まとめ
5. 今後のスケジュール

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の概要：事業概要】

本市では、平成28年度に竜王地区と双葉地区を統合し、現在の上水道事業として運営しています。また、簡易水道事業は、睦沢・清川簡易水道事業と吉沢簡易水道事業の2事業を運営しています。

なお、敷島地区の大部分は、甲府市水道事業の給水区域となっています。

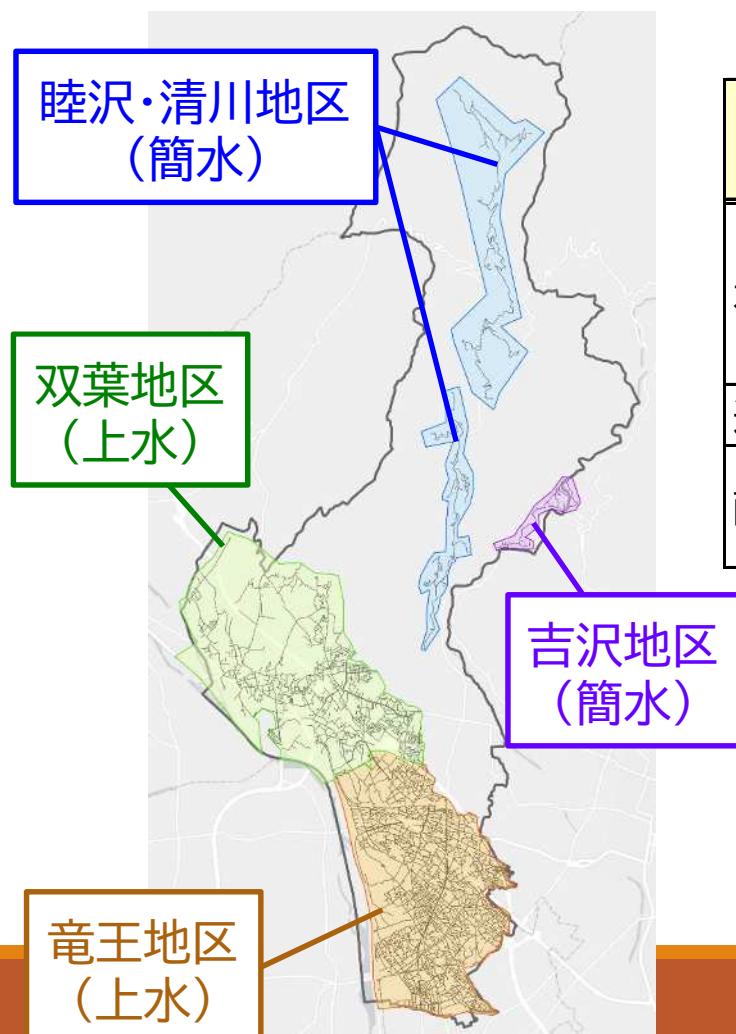
事業区分	最終 認可年	給水人口(人)		1日最大給水量(m ³ /日)	
		計画	R6実績	計画	R6実績
上水道事業	R6	57,000	56,264	25,000	21,251
簡易水道事業 (睦沢・清川、吉沢)	H16	1,644	791	778	1,053
計		58,644	57,055	25,778	22,304

上水道事業 : 給水人口が5,000人超の水道事業

簡易水道事業 : 給水人口が101人以上、5,000人以下の水道事業

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の概要：位置・施設】



事業別施設数(令和6年度末時点、単位：箇所)

施設区分		上水道事業			簡易水道事業			
		竜王	双葉	計	睦沢	清川	吉沢	計
水源	深井戸	13	10	23	1	0	1	2
	表流水	0	0	0	0	1	0	1
	浄水受水	0	1	1	0	0	0	0
送水場		1	0	1	0	0	0	0
配水池	自然流下	2	8	10	1	2	2	5
	ポンプ加压	6	3	9	0	0	0	0

用途別管路延長(令和6年度末時点)

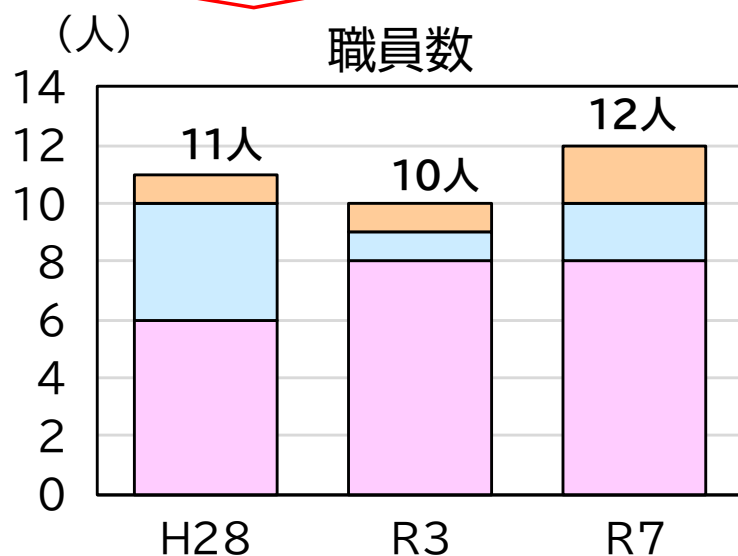
用途区分	管路延長(km)		
	上水道事業	簡易水道事業	計
導水管	0	0.02	0.02
送水管	6.81	5.52	12.33
配水管	367.17	34.52	401.69
計	373.98	40.06	414.04

1. 甲斐市水道事業の概要

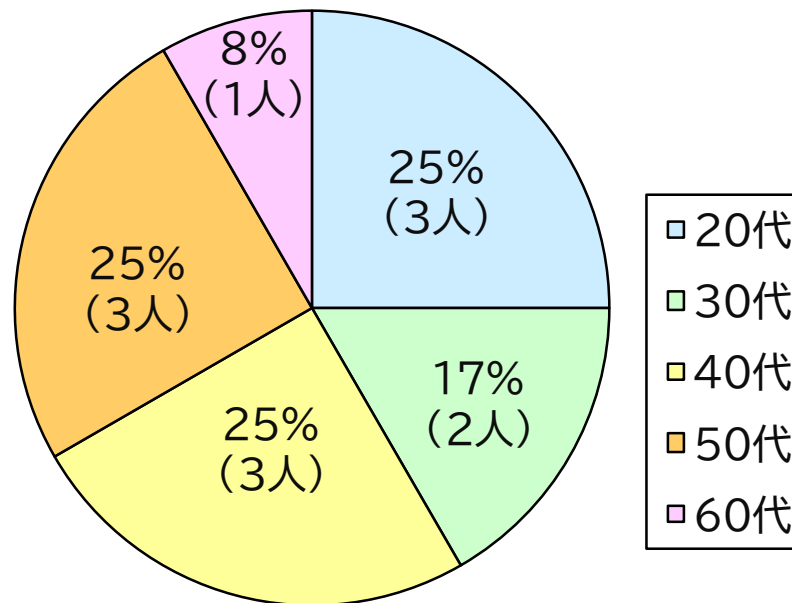
【甲斐市水道事業の現状：職員】

本市の水道事業全体に係る職員は合計12人となっています。年齢構成は比較的バランスがよい一方で、技術職員の数が減少してきたことから、技術・知識の継承及び後継者育成等が課題と言えます。

H28に比べ技術職員が減少



職員年齢構成(R7.4)



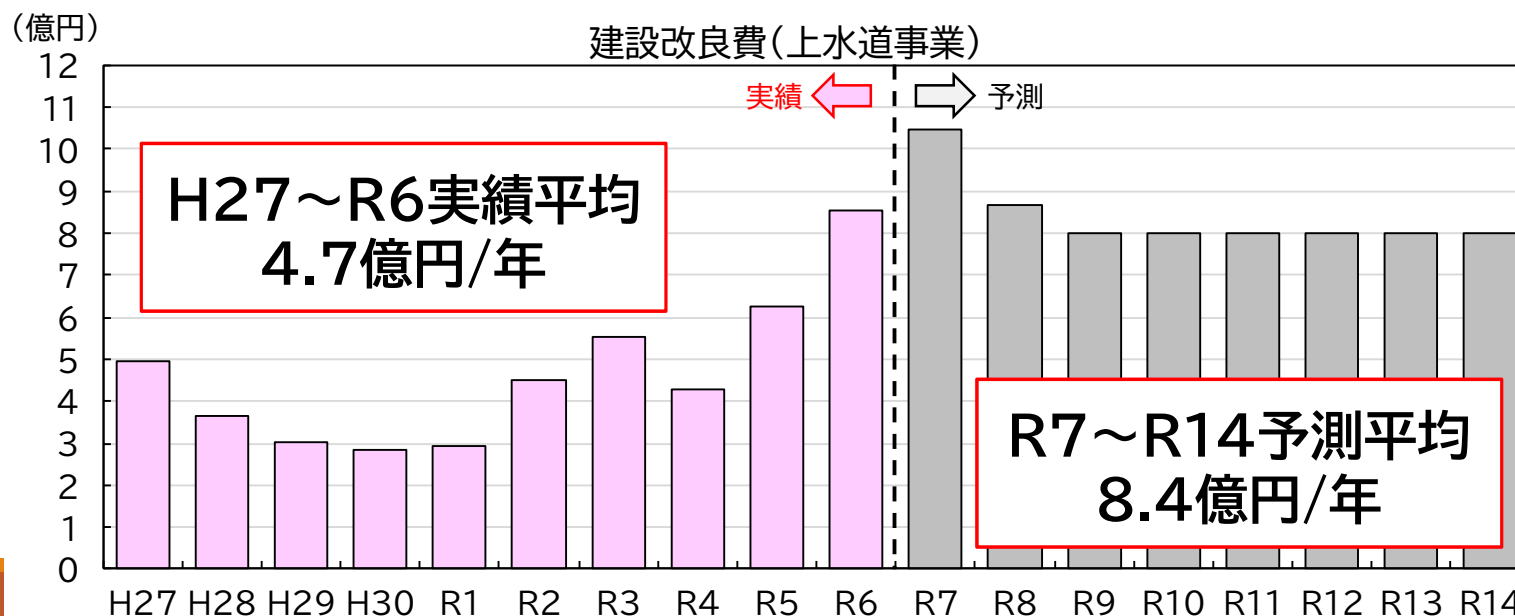
■ 事務職員 ■ 技術職員 ■ 技能職員・その他

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状：更新需要】

R5年度に行った検討において、将来(R7～R14)の建設改良費(上水道事業)は最大10.5億円/年、平均8.4億円/年が必要になると試算されています(実績10年平均の約1.8倍)。

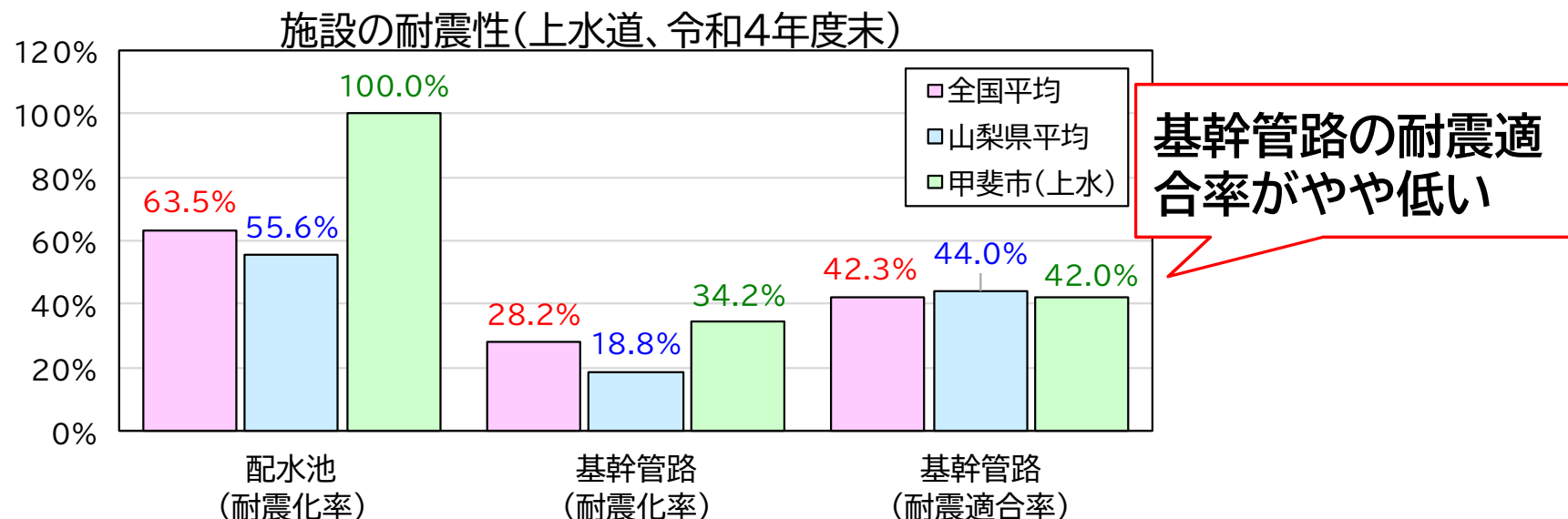
このように、今後も水道施設を健全・安全な状態に保つための事業費が必要となっていきます。



1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状：耐震性）】

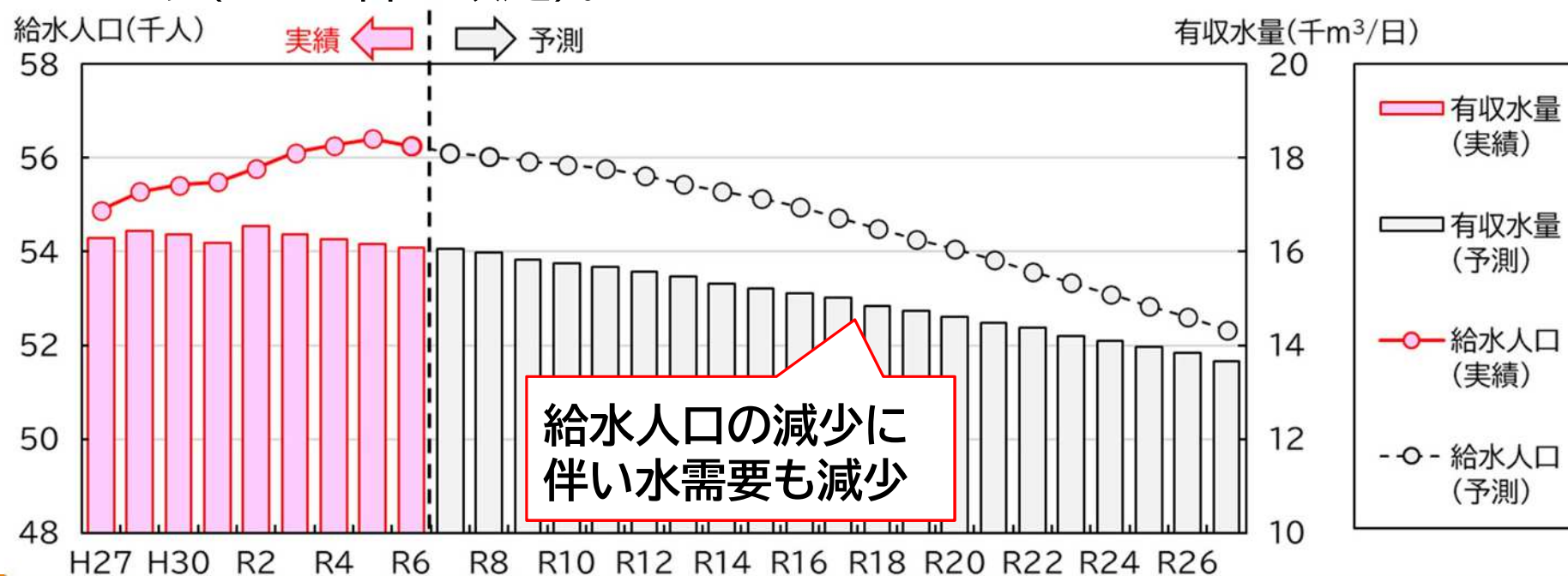
本市水道施設（配水池・基幹管路、上水道事業）の耐震化率は、全国・県平均を上回っています。一方で、基幹管路の耐震適合率が全国・県平均と比べやや低いことから、計画的に耐震化事業を進め、耐震性の向上を図っていく必要があります。



1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状:水需要①】

上水道事業は、給水人口の減少に伴い、有収水量は減少する見込みとなっています。また、これら水需要の減少に伴う給水収益の減少が懸念されるため、今後は適正な収益確保に向けた検討が課題となります(R7に料金改定)。

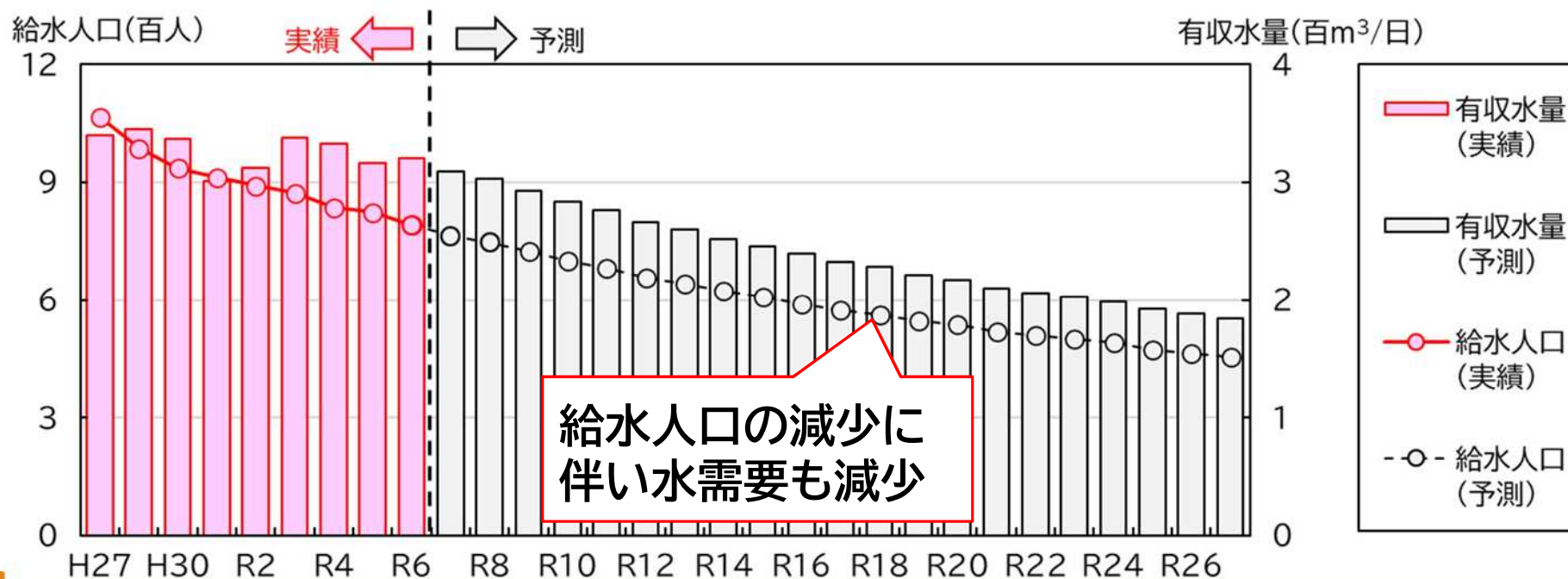


※予測値は現在精査中のため、今後数値が変更となる可能性あり

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状：水需要②】

簡易水道事業も、給水人口・有収水量ともにR7以降減少する見込みとなっています。また、これら水需要の減少に伴う給水収益の減少が懸念されるため、上水道事業と同様、適正な収益確保に向けた検討が課題となります。

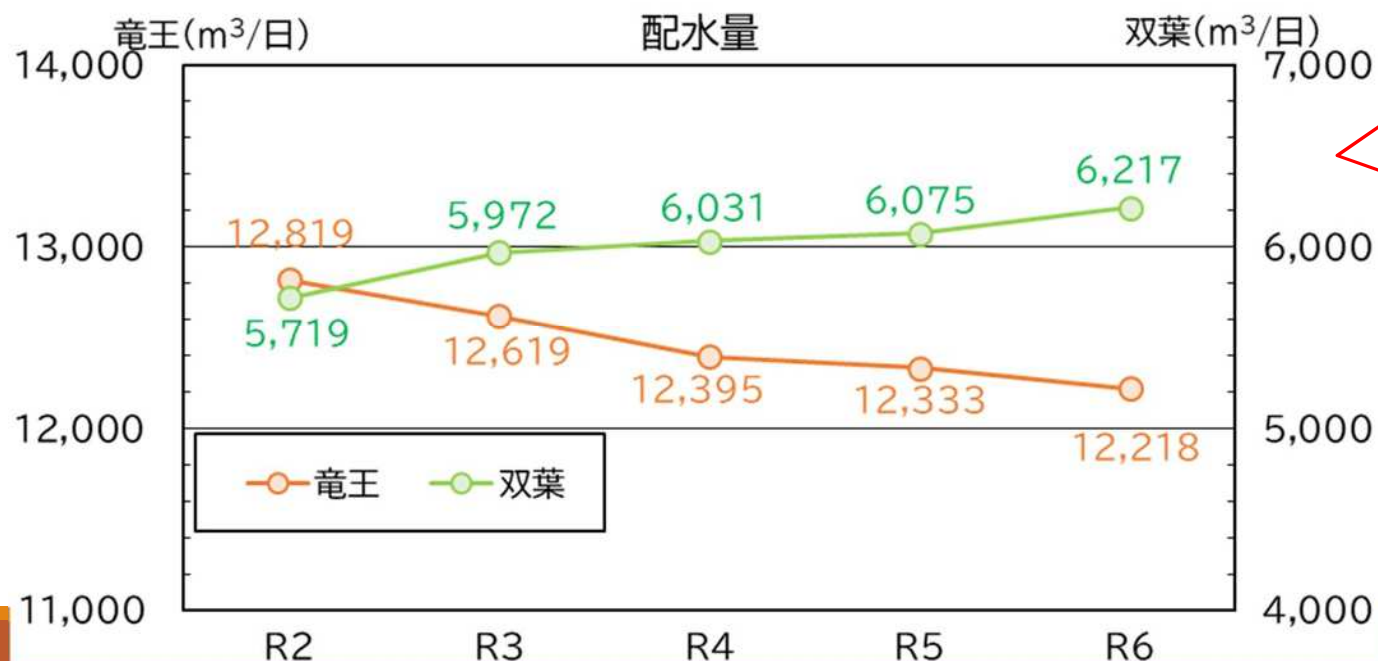


※予測値は現在精査中のため、今後数値が変更となる可能性あり

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状:水需要③】

以下に示すとおり、上水道事業については区域間で水需要が異なる傾向を示しています。そのため、これら水需要特性を踏まえた、配水区域の見直しや水道施設規模の見直し(増強・ダウンサイジング)が必要となります。

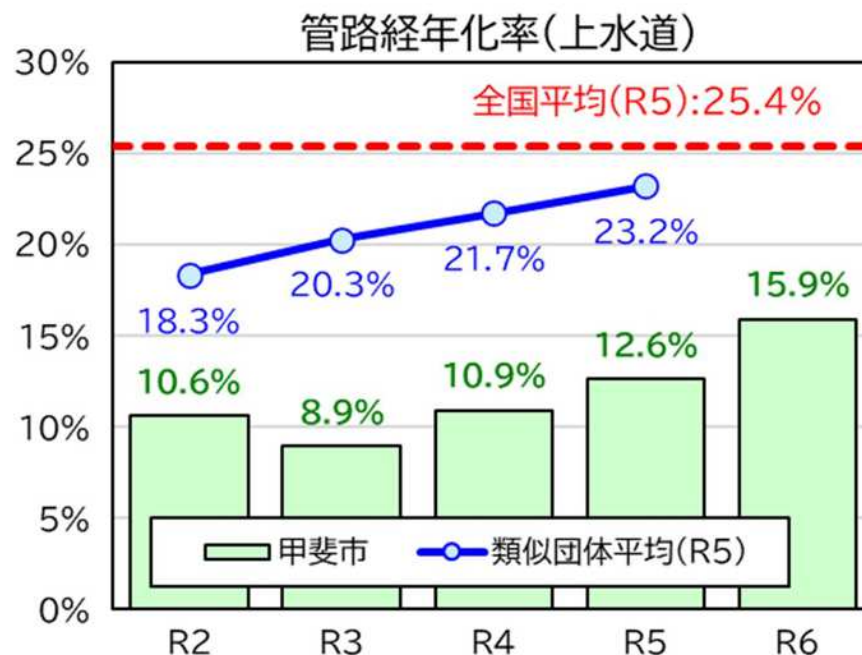


竜王地区では減少、双葉地区では増加傾向が見られる

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状：管路（経年化率）】

上水道事業の管路経年化率は、全国・類似団体平均を下回っているものの、上昇傾向が見られていることから、管路更新の促進が必要となります。



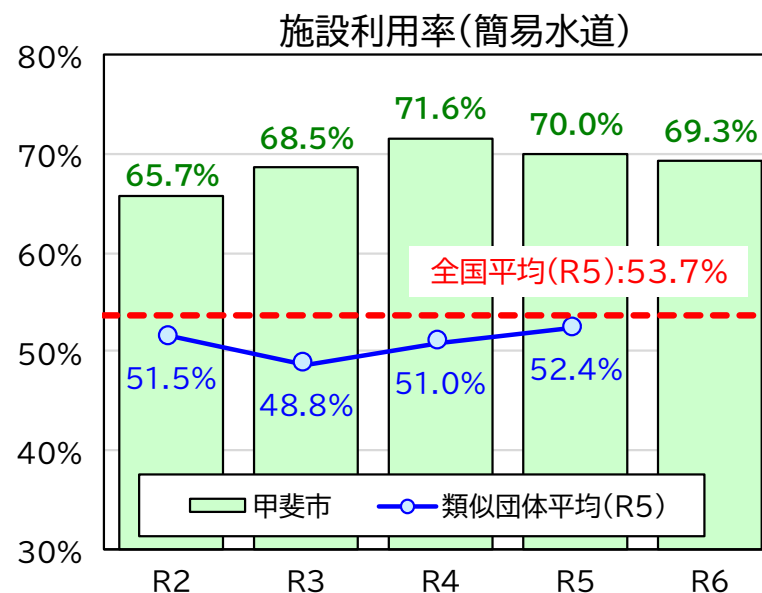
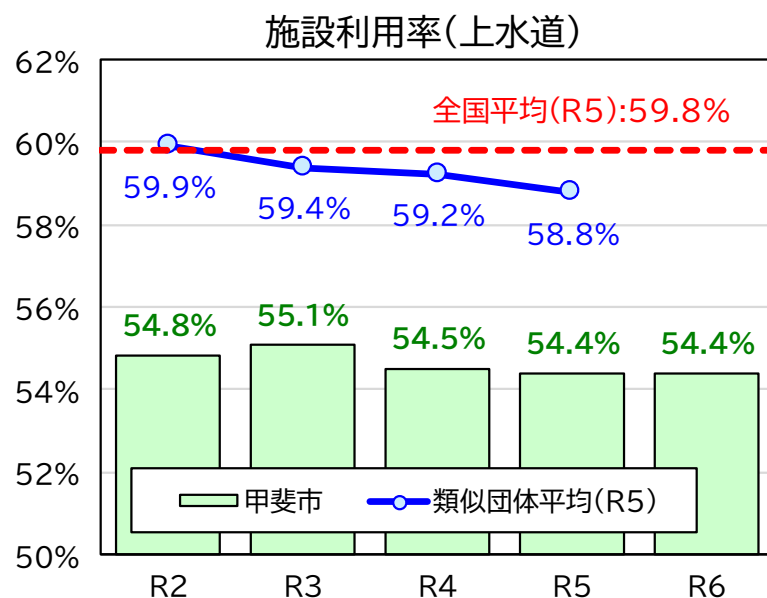
管路経年化率：総管路延長に対する法定耐用年数を超過した管路延長の割合。

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状：施設（利用率）】

上水道事業の施設利用率は、全国・類似団体平均を下回っており、今後の水需要減少に伴い更なる低下が想定されることから、施設規模の適正化に関する検討が必要となります。

簡易水道事業の施設利用率は、全国・類似団体平均を上回っており、比較的高い数値で推移しています。



施設利用率：1日平均配水能力に対する1日平均配水量の割合。

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状：経営①】

上水道事業の経常収支比率は、100%以上かつ全国・類似団体平均以上と良好な状態であるものの、年々減少傾向にあります。

簡易水道事業の経常収支比率は、100%以上ではあるもの、全国・類似団体平均より低く、一般会計からの繰入金で補填しているのが実態であるため、料金収入の確保等経営の改善が必要となります。



経常収支比率: 経常費用に対する経常収益の割合。100%以上となっていることが望ましい。

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状：経営②】

上水道事業の料金回収率は、100%以上かつ全国・類似団体平均以上と良好な状態であるものの、年々減少傾向にあります。

簡易水道事業の料金回収率は、100%を大きく下回っており、全国・類似団体平均未満であることから、適切な料金体系の検討が必要な状況です。

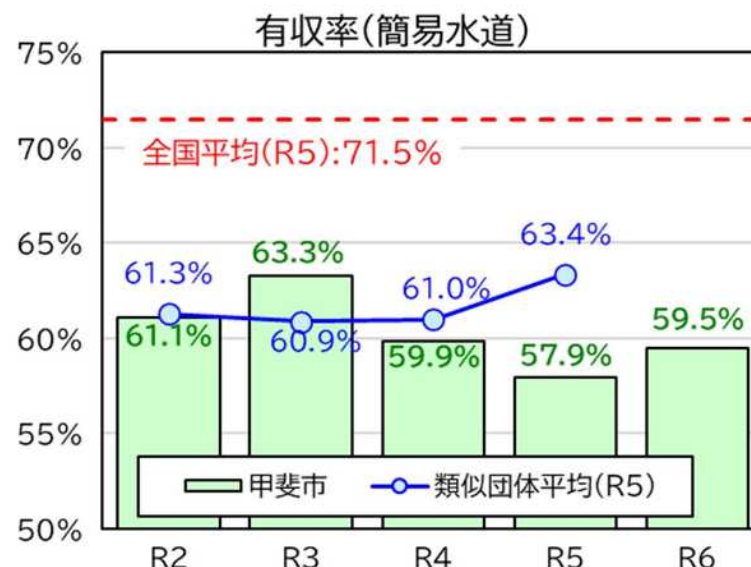
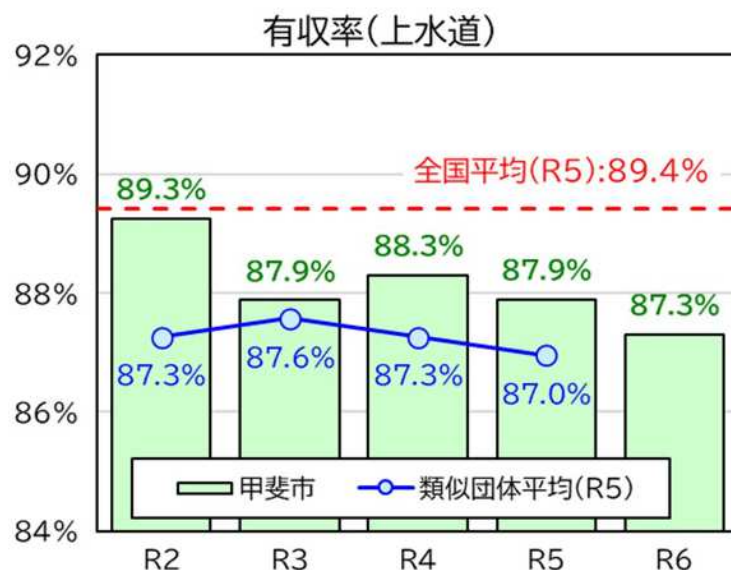


料金回収率:給水原価に対する供給単価の割合。100%以上となっていることが望ましい。

1. 甲斐市水道事業の概要

【甲斐市水道事業の現状：経営③】

有収率は、上水道事業・簡易水道事業ともに全国平均を下回っており、上水道事業においては低下傾向が見られるため、今後着実な管路更新等により改善を図ることが望ましい状況です。



有収率: 給水する水量に対する料金収入があった水量の割合。

2. 甲斐市第2次水道ビジョンについて

【甲斐市第2次水道ビジョンの概要】



- H28.3に、H37(R7)年度を目標期間とした『**甲斐市第2次水道ビジョン**』を策定しました。
- 本ビジョンは、策定当時における「甲斐市総合計画」の基本理念である「緑と活力あふれる生活快適都市」を念頭に、甲斐市水道事業として中・長期的な施策の方向性を示したものとなっています。
- 『**かけがえのない安全でおいしい水をいつまでも**』を将来像に掲げ、「**安全な水道**」「**安定性の高い水道**」「**持続可能な健全経営**」の3つの目標と関連する17の実現化方策を設定しました。

2. 甲斐市第2次水道ビジョンについて

【甲斐市第2次水道ビジョンの中間見直し】

甲斐市第2次水道ビジョン及び甲斐市水道事業経営戦略及びアセットマネジメント計画
中間見直し



令和4年3月

甲斐市

- R4.3に、『甲斐市第2次水道ビジョン』の中間見直しを行いました。
- 中間見直しでは、H28～R2年度の期間における取組の実施状況や事業環境の変化等から課題を把握し、その課題解決に向けた対応方策を検討しました。
- 課題を踏まえた見直しにより、上水道事業5施策・簡易水道事業7施策の取組の強化を明示するとともに、上水道事業に新たな施策を追加しました。
- 同時に、H28年度に策定した経営戦略・アセットマネジメント計画の見直しも行いました。

3. 施策の取組状況

【甲斐市第2次水道ビジョンの施策一覧①】

第2次水道ビジョンでは、【安全】【強靱】【持続】の観点で、以下に示す18の実現化方策・30の主要施策を掲げています(中間見直し時に一部追加)。

目標	実現化方策		主要施策		上水	簡水
【安全】 安全な水道	A	水質管理体制の継続	A1	水質管理体制の継続	○	○
			A2	残留塩素対策	○	○
	B	水道施設の維持管理	B1	外部委託の継続、検討	○(継続)	○(検討)
	C	水道施設の計画的な整備と更新	C1	主要管路等の更新	○	○
			C2	アセットマネジメントによる老朽管更新計画の実施	○	○
			C3	配水区域の見直し	○	
			C4	減圧弁の設置	○	
	D	水道システムの強化	D1	水道システムの強化	○(継続)	○(検討)

■: 中間見直し時に取組の強化を掲げた項目

3. 施策の取組状況

【甲斐市第2次水道ビジョンの施策一覧②】

目標	実現化方策		主要施策		上水	簡水
【強靱】 安定性の高い水道	E	地震対策の強化	E1	主要施設の耐震化		○
			E2	基幹管路の耐震化	○	
			E3	緊急遮断弁の設置	○	
	F	危機管理体制の強化	F1	応急復旧・応急給水体制の整備	○	○
			F2	人為的災害の予防	○	○
	G	相互融通機能の強化	G1	配水ブロック間の相互融通機能の強化	○	
			G2	隣接都市との相互連絡体制の強化	○	
	H	使用者サービスの向上	H1	受付業務サービスの充実	○	
	I	情報公開・広報活動の推進	I1	積極的な情報提供と広報活動	○	○
	J	使用者の管理責任の負担軽減	J1	給水メーターまでの維持管理の継続	○	○
	K	管路情報システムの充実	K1	管路情報システムの充実	○	
	-	浸水被害の軽減 (中間見直し時に追加)	-	施設の耐水化(対策事例の確認や対策が必要な施設の確認)	○	

○：中間見直し時に取組の強化を掲げた項目

3. 施策の取組状況

【甲斐市第2次水道ビジョンの施策一覧③】

目標	実現化方策		主要施策		上水	簡水
【持続可能な健全経営】	L	適正な水道料金の設定	L1	定期的な水道料金の見直し検討	○	○
	M	財政基盤の強化	M1	健全な財務体質の確保	○	○
			M2	有収率の向上	○	○
			M3	料金収納率の向上	○	○
	N	事業の効率化	N1	コスト縮減の継続	○	○
	O	人材育成と技術の継承	O1	若手職員の技術の継承とOJTの実施	○	○
			O2	専門職(スペシャリスト)の育成	○	○
	P	省エネルギー対策の推進	P1	施設の省エネルギー化	○	○
	Q	環境に配慮した事業の推進	Q1	省エネ型車両導入の検討	○	○
			Q2	資源リサイクルの推進	○	○

■: 中間見直し時に取組の強化を掲げた項目

3. 施策の取組状況

【施策の取組状況：安全①】

【安全】に関する施策は、上水道事業の達成率が75%(6/8)、簡易水道事業の達成率が67%(4/6)となりました。

これらの達成状況から、**簡易水道における包括委託の導入検討、管路更新の促進**が今後の課題として挙げられます。

評価		【安全】	
		上水道	簡易水道
A	達成	6	4
B	着手はしているが未完了 (または目標数値未達成)	2	0
C	取組に着手できていない	0	2
計		8	6
達成率		75%	67%

※達成率＝Aの数/項目数の合計×100

3. 施策の取組状況

【施策の取組状況：安全②】

評価の凡例		A:達成 / B:着手はしているが未完了(または目標数値未達成) / C:取組に着手できていない			
施策		上水道		簡易水道	
主要施策内容		評価	取組内容の実施状況(R6時点)	評価	取組内容の実施状況(R6時点)
【安全】安全な水道	A1 水質管理体制の継続	A	計画どおり取組を実行できている	A	計画どおり取組を実行できている
	A2 残留塩素対策	A	計画どおり取組を実行できている	A	計画どおり取組を実行できている
	B1 外部委託の継続、検討	A	計画どおり取組を実行できている (外部委託を継続)	C	施設維持管理の包括委託の導入検討未実施
	C1 主要管路等の更新	B	改善は図れているが、目標値に達していない 計画…更新率2.7%/年、更新延長9.7km/年 実績…更新率1.5%/年、更新延長5.6km/年	C	管路更新工事未実施
	C2 アセットマネジメントによる老朽管更新計画の実施	A	H28年度にアセットマネジメント計画を策定し、 H29年度に老朽管更新に必要な事業規模を整理	A	H28年度にアセットマネジメント計画を策定し、 H29年度に老朽管更新に必要な事業規模を整理
	C3 配水区域の見直し	B	竜王地区の配水区変更を実施(玉川・冷間) 双葉地区の配水区域変更は検討中		
	C4 減圧弁の設置	A	計画どおり取組を実行し、高水圧地域を解消		
	D1 水道システムの強化	A	計画どおり取組を実行できている (現況の水道システムを継続)	A	計画どおり取組を実行できている (遠方監視システムの導入・活用)

■:中間見直し時に取組の強化を掲げた項目

3. 施策の取組状況

【施策の取組状況：強靱①】

【強靱】に関する施策は、上水道事業の達成率が82%(9/11)、簡易水道事業の達成率が80%(4/5)となりました。

これらの達成状況から、上水道における基幹管路耐震化、簡易水道における主要施設の簡易耐震診断が今後の課題として挙げられます。

評価		強靱	
		上水道	簡易水道
A	達成	9	4
B	着手はしているが未完了 (または目標数値未達成)	2	0
C	取組に着手できていない	0	1
計		11	5
達成率		82%	80%

※達成率＝Aの数/項目数の合計×100

3. 施策の取組状況

【施策の取組状況：強靱②】

評価の凡例		A:達成 / B:着手はしているが未完了(または目標数値未達成) / C:取組に着手できていない			
施策		上水道		簡易水道	
主要施策内容		評価	取組内容の実施状況(R6時点)	評価	取組内容の実施状況(R6時点)
【強靱】安定性の高い水道	E1 主要施設の耐震化			C	一部の施設で簡易耐震診断未実施
	E2 基幹管路の耐震化	B	改善は図れているが、目標値に達していない 計画…本市が設定する基幹管路の耐震化率100% 実績…本市が設定する基幹管路の耐震化率94.8%		
	E3 緊急遮断弁の設置	A	計画どおり取組を実行し、緊急遮断弁が必要な全ての配水池に設置が完了している		
	F1 応急復旧・応急給水体制の整備	A	応急復旧に備えた応急協定は締結済み 応急給水施設・備品の整理や災害時の取水体制等を整備	A	応急復旧に備えた応急協定は締結済み 応急給水施設・備品の整理や災害時の取水体制等を整備
	F2 人為的災害の予防	A	計画どおり取組を実行できている	A	計画どおり取組を実行できている
	G1 配水ブロック間の相互融通機能の強化	A	連絡管によるブロックの連結済み(相互融通が可能な場合)		
	G2 隣接都市との相互連絡体制の強化	B	周辺自治体と協定を交わしている 連絡管については、県の水道広域化に関する方針を踏まえ、検討を進めている		

：中間見直し時に取組の強化を掲げた項目

3. 施策の取組状況

【施策の取組状況：強靱③】

評価の凡例		A:達成 / B:着手はしているが未完了(または目標数値未達成) / C:取組に着手できていない				
施策		上水道		簡易水道		
主要施策内容		評価	取組内容の実施状況(R6時点)	評価	取組内容の実施状況(R6時点)	
【強靱】安定性の高い水道	H1	受付業務サービスの充実	A	計画どおり取組を実行できている (平日窓口の営業時間の延長や土曜日窓口受付を継続)		
	I1	積極的な情報提供と広報活動	A	計画どおり取組を実行できている (年3回「甲斐のうまい水だより」を発行)	A	広報誌やSNSを活用をした情報の周知
	J1	給水メーターまでの維持管理の継続	A	計画どおり取組を実行できている	A	計画どおり取組を実行できている
	K1	管路情報システムの充実	A	計画どおり取組を実行できている		
	-	施設の耐水化	A	計画どおり取組を実行できている (浸水想定区域内の施設は、更新時に嵩上げ)		

■:中間見直し時に取組の強化を掲げた項目

3. 施策の取組状況

【施策の取組状況：持続①】

【持続】に関する施策は、上水道事業の達成率が60%(6/10)、簡易水道事業の達成率が50%(5/10)となりました。

これらの達成状況から、簡易水道における適正な水道料金の検討、簡易水道の財務状況改善、上水道・簡易水道の有収率向上が今後の課題として挙げられます。

評価		持続	
		上水道	簡易水道
A	達成	6	5
B	着手はしているが未完了 (または目標数値未達成)	4	2
C	取組に着手できていない	0	3
計		10	10
達成率		60%	50%

※達成率＝Aの数/項目数の合計×100

3. 施策の取組状況

【施策の取組状況：持続②】

評価の凡例			A:達成 / B:着手はしているが未完了(または目標数値未達成) / C:取組に着手できていない			
施策			上水道		簡易水道	
主要施策内容			評価	取組内容の実施状況(R6時点)	評価	取組内容の実施状況(R6時点)
【持続】持続可能な健全経営	L1	定期的な水道料金の見直し検討	A	計画どおり取組を実行できている(令和7年6月に料金改定を実施)	C	改定は未着手
	M1	健全な財務体質の確保	A	計画どおり取組を実行できている(健全な財務状況の継続)	C	一般会計からの繰入金で補填している状況
	M2	有収率の向上	B	有収率が悪化傾向にある	C	更新工事未着手により、有収率が悪化傾向にある
	M3	料金収納率の向上	A	計画どおり取組を実行できている(料金出納率約99%)	A	計画どおり取組を実行できている(料金出納率約99%)
	N1	コスト削減の継続	A	計画どおり取組を実行できている	A	計画どおり取組を実行できている

■: 中間見直し時に取組の強化を掲げた項目

3. 施策の取組状況

【施策の取組状況：持続③】

評価の凡例		A:達成 / B:着手はしているが未完了(または目標数値未達成) / C:取組に着手できていない			
施策		上水道		簡易水道	
主要施策内容		評価	取組内容の実施状況(R6時点)	評価	取組内容の実施状況(R6時点)
【持続】持続可能な健全経営	O1		若手職員の技術の継承とOJTの実施	B	OJTを通じた若手への技術継承指導に努めているが、老朽化に対応できる職員数が足りていない
	O2		専門職(スペシャリスト)の育成	B	研修への参加・資格取得への支援を実施をしているが、その他の業務を踏まえると、参加できる職員数が足りていない
	P1		施設の省エネルギー化	A	計画どおり取組を実行できている(施設電気・機械設備の省エネ化など)
	Q1		省エネ型車両導入の検討	B	導入検討中
	Q2		資源リサイクルの推進	A	計画どおり取組を実行できている(工事により発生した廃材などのマニフェストによる利活用)

■:中間見直し時に取組の強化を掲げた項目

4. まとめ

【上水道事業の課題】

《安全》

- 管路経年化率の上昇・更新目標未達 → 管路更新の促進
- 区域間で異なる水需要動向
→ 水需要特性を踏まえた配水区域・施設規模の見直し

《強靱》

- 基幹管路の耐震適合率が低い → 管路更新(耐震化)の促進
- 施設利用率が低い → 適正規模(ダウンサイジング)の検討

《持続》

- 有収率の低下 → 管路更新の促進
- 技術職員減少等 → 人材育成・技術継承
- 各種経営指標の悪化 → 定期的な水道料金見直し、経費削減等
※R7年度に料金改定を実施

4. まとめ

【簡易水道事業の課題】

《安全》

- 施設維持管理の包括委託導入の検討未実施 → 検討の実施
- 主要管路等の更新未実施 → 検討の実施

《強靱》

- 主要施設の耐震化に係る検討未実施 → 簡易耐震診断の実施

《持続》

- 料金回収率が低い → 水道料金の見直し
- 技術職員減少等 → 人材育成・技術継承
- 一般会計からの補填あり → 経営健全化に向けた検討

4. まとめ

【今後の施策の方向性(案)】

①既存施策

前述の取組状況、現在・将来の事業環境等を踏まえ、今後の方向性を精査します(継続実施、施策内容・規模の見直し、中止等)。

②新規施策

これまでに説明した内容以外に、現時点で今後実施すべきと考えている取組(課題)は以下のとおりです。

- 配水区域の再編検討
- 簡易水道事業の上水道事業への統合に関する検討
- 水道事務所の建て替えに向けた検討
- 停電等の緊急時における対策の検討

抽出した課題や既存施策の取組状況、上記方向性等を踏まえ、今後水道事業が行っていくべき施策を検討し、水道ビジョンとしてとりまとめていきます。

5. 今後のスケジュール

【審議会スケジュール(案)】

開催時期	諮問案件・議事内容
第1回(R7.7)	審議会の説明、委員・職員紹介、会長・副会長選出、甲斐市水道事業等の現状と課題の説明
第2回(R7.9)	第3次水道ビジョン1次案
第3回(R7.10)	第3次水道ビジョン素案、答申案の作成
答申(R7.11)	答申

※各会議の審議状況に応じて、開催時期及び開催回数が変更となる可能性があります

次回の審議会では、今後作成する第3次水道ビジョンの1次案を基に、今後取り組むべき施策等についてご審議していただく予定です

(骨子案)

甲斐市第3次水道ビジョン

～ かけがえのない安全でおいしい水をいつまでも ～

令和8年度～令和17年度



令和8年3月

甲斐市

－ 目 次 －

第1章 策定の趣旨と位置付け.....	1
1.1 第3次水道ビジョン策定の趣旨	1
1.2 計画の位置づけ・計画期間.....	1
第2章 事業概要	2
2.1 甲斐市の概要	2
2.2 水道事業の概要	3
2.2.1 事業の沿革.....	3
2.2.2 水道施設の概要	4
第3章 水道事業の現状	6
3.1 第2次水道ビジョンの進捗評価.....	6
3.1.1 第2次水道ビジョンにおける実現方策と取組内容	6
3.1.2 進捗評価.....	6
3.2 水需要の動向	7
3.3 水質の状況	7
3.3.1 水質管理の状況.....	7
3.3.2 業務指標による評価.....	7
3.4 施設の状況	8
3.4.1 老朽化の状況	8
3.4.2 耐震化の状況	8
3.4.3 維持管理の状況	8
3.4.4 業務指標による評価.....	8
3.5 経営の状況	9
3.5.1 水道料金体系.....	9
3.5.2 収益的収支・資本的収支の推移.....	9
3.5.3 業務指標による評価.....	9
3.6 組織の状況	9
3.6.1 職員数の推移.....	9
3.6.2 年齢構成.....	9
3.6.3 人材の育成と技術継承.....	9
3.6.4 業務指標による評価.....	9
3.7 利用者サービスの状況	10
3.7.1 利用者サービス	10
3.7.2 料金収納方法	10

3.7.3 情報公開・広報活動	10
3.7.4 業務指標による評価	10
3.8 災害時対応の状況	11
3.9 経営健全化等に向けた取組の状況	11
3.9.1 広域化	11
3.9.2 官民連携の導入	11
3.9.3 その他経営効率化に係る取組	11
3.9.4 環境に配慮した取組	11
第4章 将来の事業環境	12
4.1 人口の見通し	12
4.2 給水量の見通し	13
4.3 水道料金収入の見通し	14
4.4 施設(更新需要)の見通し	15
4.5 組織の見通し	15
4.6 災害の多様化・激甚化	15
第5章 水道事業の課題	16
第6章 水道の将来像と推進する実現方策	17
6.1 水道の将来像	17
6.1.1 将来像	17
6.1.2 基本目標	17
6.1.3 実現化方策と数値目標	17
6.2 計画期間内における具体的取組	18
6.2.1 【安全】「安全な水道」の実現に向けた取組	18
6.2.2 【強靱】「安定性の高い水道」の実現に向けた取組	18
6.2.3 【持続】「持続可能な健全経営」の実現に向けた取組	18
第7章 フォローアップ	19

※時点案のため、構成・項目名・ページ番号が今後変更となる可能性があります